

2 0 0 8 年 度

生 活 経 済 学 会

総 会 資 料

2 0 0 8 年 6 月 7 日 (土)

関西学院大学上ヶ原キャンパス

目 次

2008年度総会議事

I	2007年度事業報告及び同決算報告（第1号議案）	
	2007年度事業報告	1
	2007年度決算報告	12
	会計監査報告	13
II	生活経済学会会則等の改正等（第2号議案）	14
III	2008年度事業計画及び同収支予算案（第3号議案）	
	2008年度事業計画	18
	2008年度収支予算案	20
IV	理事の交代等（第4号議案）	21
V	名誉会員の推薦報告（第5号議案）	22
VI	その他（第6号議案）	22
○	報告事項	
	生活経済学会賞等の選考結果	22
	日本経済学会連合への加盟と評議員の指名	22
	各種委員会委員（新任の方）	23
	新入会員・会員種別変更の承認報告	23

2008年度総会議事次第

- 開会あいさつ…………… 村田 治 氏 (大会準備委員長)
- 会長あいさつ…………… 坂口 正之氏
- 議長の選出…………… 奥野 博幸氏
- 議 事
 - 第1号議案 2007年度事業報告…………… 朝日 譲治氏
 - 2007年度決算報告…………… 奥野 博幸氏
 - 会計監査報告…………… 南林さえ子氏
 - 第2号議案 生活経済学会会則等の改正…………… 坂口 正之氏
 - 第3号議案 2008年度事業計画…………… 朝日 譲治氏
 - 2008年度収支予算案…………… 奥野 博幸氏
 - 第4号議案 理事の交代等…………… 坂口 正之氏
 - 第5号議案 名誉会員の推薦報告…………… 坂口 正之氏
- 報告事項
 - 生活経済学会賞等の選考結果…………… 朝日 譲治氏
 - 新入会員・会員種別変更の承認報告…………… 坂口 正之氏
- 次期大会開催校あいさつ…………… 喜田栄次郎氏
- 閉会あいさつ…………… 朝日 譲治氏

(第1号議案)

I 2007年度事業報告及び同決算報告

第1 2007年度事業報告

(2007年4月1日から2008年3月31日まで)

次のとおり、2007年度事業報告及び同決算報告がなされ、承認された。

1 会員の現状

2008年3月31日現在の会員数は次のとおり

会 員	2007年度	2006年度	増 減
個人会員A	643	637	6
個人会員B	247	251	△4
個人会員C	5	—	5
名誉会員	12	9	3
賛助会員	14 (38口)	16 (40口)	△2 (△2口)
計	921	913	8

2 研究大会の開催

第23回(2007年)研究大会を次のとおり開催した。

開催日時 2007年4月21日(土)・22日(日)

会 場 沖縄県青年会館(那覇市)

内 容 自由論題: 26本発表及び討論

共通論題: テーマ「生活における豊かさを考える」

報告者 具志堅 邦子氏(沖縄国際大学)

小宮山 康朗氏(NHK 国際放送局)

根津 永二氏(愛知学院大学)

討論者 駒村 康平(慶應義塾大学)

御船 美智子(お茶の水女子大学)

座 長 朝日 譲治(明海大学)

鴨池 治(東北大学)

3 部会の開催等

2007年度の各部会は次のとおり開催した。

- 北海道部会《部会長: 遠藤 薫 氏(小樽商科大学商学部教授)》

- 1 開催日 2007年9月15日(土)
- 2 開催場所 小樽商科大学札幌サテライト
- 3 開催概要
特別講演 「イギリスの公的年金制度改革の最近の動向について」
報告者 生活経済学会会長 坂口 正之 氏(大阪商業大学)
座長 伊藤 一 氏(小樽商科大学)
研究報告Ⅰ
テーマ 「保険薬局における患者満足度の分析－多変量解析による検討－」
報告者 櫻井 秀彦 氏(北海道薬科大学)
座長 北嶋 雅見 氏(北海道未来総合研究所)
研究報告Ⅱ
テーマ 「第2次大戦直後の北海道における家計構造にみる地域性」
報告者 飯村 しのぶ 氏(藤女子大学)

○ 東北部会 《 部会長 江尻 行男 氏(東北福祉大学) 》

- 1 開催日 2007年10月13日(土)
- 2 開催場所 石巻専修大学5号館第5会議室
- 3 開催概要
総合司会 三橋 勇 氏(宮城大学)
座長 江尻 行男 氏(東北福祉大学)
研究報告Ⅰ
テーマ 「地域格差に関する諸問題－日本とハンガリー共和国の比較－」
報告者 金 政信 氏(東北福祉大学)
討論者 油川 洋 氏(尚絅学院大学)
研究報告Ⅱ
テーマ 「英国におけるクレジットユニオンとコミュニティ再生」
報告者 野呂 拓生 氏(東北開発センター)
討論者 鴨池 治 氏(東北大学大学院)
座長 上田 良光 氏(東北学院大学)
研究報告Ⅲ
テーマ 「年金財源の代替と教育水準、資本蓄積および経済厚生」
報告者 伊藤 健宏 氏(石巻専修大学)
討論者 栗山 規矩 氏(石巻専修大学)

研究報告Ⅳ

テーマ 「東北地域における地方銀行の業務広域化と事業戦略」
報告者 関 憲治 氏（山形県立産業技術短期大学庄内分校）
江良 亮 氏（山形県立産業技術短期大学庄内分校）
討論者 新明 兵太郎 氏（元石巻専修大学）

- 関東部会 《 部会長 上村 協子 氏（東京家政学院大学） 》
- 1 開催日 2007年10月21日(日)
 - 2 開催場所 慶應義塾大学 三田校舎 大学院棟
 - 3 開催概要 総合司会 上村 協子 氏（東京家政学院大学）
座 長 浅子 和美 氏（一橋大学）
赤塚 朋子 氏（宇都宮大学）

研究報告Ⅰ

テーマ 「家計の将来の生活設計と資産選択行動」
報告者 塚原 一郎 氏（慶応義塾大学）
討論者 村本 孜 氏（成城大学）

研究報告Ⅱ

テーマ 「高齢期の生活費用と年金需給額に関する情報格差」
報告者 和泉 徹彦 氏（田園調布学園大学）
討論者 丸山 桂 氏（成蹊大学）

研究報告Ⅲ

テーマ 「生活者の“退職後収入”に関する一考察
—急がれる目標代替率の議論—」
報告者 野尻 哲史 氏（フィデリティ退職・投資教育研究所）
討論者 釜江 廣志 氏（一橋大学）

研究報告Ⅳ

テーマ 「ワーク・ライフ・バランスの視点からみるデンマークに
おける共同住宅型コミュニティー」
報告者 熊倉 瑞恵 氏（日本女子大学）
討論者 高梨 千恵 氏（お茶の水女子大学）
座 長 南林 さえ子 氏（駿河台大学）
森 映雄 氏（早稲田大学）

研究報告Ⅴ

テーマ 「心理的指向性は世帯の投資信託需要に影響を与えるか？」

報告者 稲倉典子氏 (日本郵政公社郵政総合研究所)

小原 宏 氏 (日本郵政公社 郵政総合研究所)

討論者 大塚 時雄 氏 (早稲田大学)

研究報告Ⅵ

テーマ 「米国地域金融システムの組み替え」

報告者 内田 聡 氏 (茨城大学)

討論者 中村 研二 氏 (日本政策投資銀行)

研究報告Ⅶ

テーマ 「地域人口の変化と金融機関の店舗数」

報告者 畔上 秀人 氏 (関東学園大学)

討論者 藤野 次雄 氏 (横浜市立大学)

パネルディスカッション

座 長 吉野 直行 氏 (慶應義塾大学)

テーマ 「信託と生活経済」

パネリスト 永田 俊一 氏 (預金保険機構理事長、元信託協会
専務理事・日本銀行審議委員)

折原 誠 氏 (信託協会調査部長)

討論者 朝日 讓治 氏 (明海大学)

駒村 康平 氏 (慶應義塾大学)

○ 中部部会 《 部会長 森 徹 氏 (名古屋市立大学) 》

1 開催日 2007年10月6日(土)

2 開催場所 名古屋市立大学山の畑キャンパス経済学部棟1階会議室

3 開催概要 座 長 伊藤 志のぶ (名城大学)

第1報告

テーマ 「保育サービスと出生行動」

報告者 森田 陽子 氏 (名古屋市立大学)

討論者 大藪 千穂 氏 (岐阜大学)

第2報告

テーマ 「経済統合による格差拡大と新たな政策協調」

- 報告者 土井 康裕 氏 (名古屋大学大学院)
 討論者 新井 好和 氏 (南山大学)
- 第3報告
 テーマ 「習慣形成が国際間資本移動に与える影響」
 報告者 篠崎 剛 氏 (名古屋大学大学院)
 討論者 森田 雄一 氏 (名古屋市立大学)
 座長 千田 純一 (中京大学経済研究所)
- 第4報告
 テーマ 「政府消費はマクロ経済にどのように貢献するか」
 報告者 近藤 智 氏 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)
 討論者 森川 浩一郎 氏 (近畿大学)
- 第5報告
 テーマ 「政府系金融機関の生産性は問題なのか」
 報告者 大浜 賢一郎 氏 (名古屋大学大学院)
 浅井 義裕 (城西大学)
 討論者 栗原 裕 氏 (愛知大学)
- 第6報告
 テーマ 「Market Discipline by CD Holders: Evidence from Japan with a Comparison to the U.S」
 報告者 小林 礼美 氏 ((株)東海東京調査センター・名古屋調査部アナリスト)
 討論者 小林 毅 氏 (中京大学)

- 関西部会 《 部会長 村田 治 氏 (関西学院大学) 》
- 1 開催日 2007年6月9日(土)
 - 2 開催場所 大阪市立大学文化交流センター (大阪駅前第2ビル6階)
 - 3 開催概要
- 第1報告
 テーマ 「ニュージーランドの医療制度改革～1次医療に関する改革～」
 報告者 太谷 亜由美 氏 (立命館大学)
 コメント 一圓 光彌 氏 (関西大学)
- 第2報告

テーマ 「住民参加の実態と可能性ーマクロ的アプローチからの検証」

報告者 坂本 信雄 氏 (京都学園大学)

コメント 植野 和文 氏 (兵庫県立大学)

第3報告

テーマ 「なぜ今、ジンメルの『貨幣の哲学』なのか」

報告者 川口 慎二 氏 (大阪大学)

○ 関西部会 《 部会長 村田 治 氏 (関西学院大学) 》

1 開催日 2007年12月1日(土)

2 開催場所 関西大学100周年記念会館 地下1階 特別第1会議室

3 開催概要

第1報告

テーマ 「日本の医療保障制度のあり方について」

報告者 田畑 雄紀 氏 (関西大学大学院)

コメント 寺本 尚美 氏 (梅花女子大学)

第2報告

テーマ 「中小企業の設備投資関数の推計」

報告者 藤岡 由子 氏 (関西学院大学大学院)

コメント 廣江 満郎 氏 (関西大学)

第3報告

テーマ 「地方分権下における介護保険制度の検証」

報告者 見澤 祐司 氏 (関西大学大学院・大阪市社会福祉協議会)

コメント 松井 順子 氏 (奈良女子大学研究員)

○ 中・四国部会 《 部会長 喜田 栄次郎 氏 (岡山商科大学) 》

1 開催日 2007年11月10日(土)

2 開催場所 広島大学 東千田キャンパス 東千田総合教室 207号室

3 開催概要

第1報告

テーマ 「金融教育の効果に関する検証の試み」

報告者 西田 小百合 氏 (東海大学)

西村 桂子 氏 (京都産業大学)

村上 恵子 氏 (県立広島大学)

第2報告

テーマ 「消費者エンパワーメントを可能にする金融制のあり方」

報告者 戸井 佳奈子 氏 (安田女子大学)

第3報告

テーマ 「郵政民営化ー諸外国の『先進事例』から本当に
学ぶべきことはー」

報告者 西垣 鳴人 氏 (岡山大学)

○ 九州部会 《 部会長 中宮 光隆 氏 (熊本県立大学) 》

1 開催日 2007年11月17日(土)

2 開催場所 熊本学園大学 本館5階第4会議室

3 開催概要

研究報告Ⅰ

テーマ 「鹿児島県における郵便局と民間金融機関の店舗配置」

報告者 永田 邦和 氏 (鹿児島大学)

研究報告Ⅱ

テーマ 「放送市場の市場構造の分析」

報告者 宍倉 学 氏 (長崎大学)

研究報告Ⅲ

テーマ 「ブランド論の行方ービジネスとパブリックの
ブランドを巡ってー」

報告者 棟方 信彦 氏 (熊本県立大学)

4 「生活経済学研究」の発行

「生活経済学研究」(第26巻)及び(第27巻)を発刊した。

	発刊年月日	内 容	発行部数
第26巻	2007年9月	論文5編、研究ノート2編	1,000部
第27巻	2008年3月	論文4編、研究ノート3編、共通論題3編	1,000部

5 総会・理事会・担当理事会の開催

○ 総会

開催日 2007年4月21日

会 場 沖縄県青年会館

議事事項

- ア 2006年度事業報告
- イ 2006年度決算報告
- ウ 会計監査報告
- エ 生活経済学会会則等の改正・制定
- オ 2007年度事業計画
- カ 2007年度収支予算
- キ 生活経済学会第12期役員の選任
- ク 名誉会員の推薦
- ケ 新入会員・会員種別の変更承認報告
- コ その他

○ 理事会

第71回理事会

開催日 2007年4月21日

会 場 沖縄県青年会館

議事事項

- ア 2006年度事業報告
- イ 2006年度決算報告
- ウ 会計監査報告
- エ 生活経済学会会則等の改正・制定
- オ 2007年度事業計画
- カ 2007年度収支予算
- キ 生活経済学会第12期役員の選任
- ク 名誉会員の推薦
- ケ 学会誌の編纂
- コ 新入会員・会員種別の変更承認報告
- サ その他

第72回理事会

開催日 2007年5月17日

会 場 メール持ち回り

議事事項

- ア 生活経済学会第12期役員を選任
会長指名理事を選任
- イ 生活経済学会担当理事を選任

第73回理事会

開催日 2008年3月28日

会 場 メール持ち回り

議事事項

- ア 北海道部会長の交代に伴う後任理事を選任
- イ 後任総務担当理事を選任

○ 担当理事会

第20回担当理事会

開催日 2007年4月21日

会 場 沖縄県青年会館

議事事項

- ア 生活経済学会会則の改正
- イ 総会の役割分担
- ウ 編集委員会からの提案
- エ 生活科学系コンソーシアムへの入会
- オ ホームページ更新のルール
- カ 2007年度収支予算
- キ 生活経済学会第12期役員を選任
- ク 名誉会員の推薦
- ケ 学会誌の編纂
- コ 新入会員・会員種別の変更承認報告
- サ その他

第21回担当理事会

開催日 2007年6月5日

会 場 メール持ち回り

議事事項

- ア 2007 年度学会賞選考委員会委員の選任
- イ 新入会員の承諾

第 22 回担当理事会

開催日 2007 年 8 月 1 日

会 場 郵便貯金振興会 3 階会議室

議事事項

- ア 学会員名簿の作成に伴う作業委員会の設置と記載事項等
- イ 会員の種別変更の取り扱い
- ウ 「退会」に関する規定の整備
- エ 未納退会者の再加入の取り扱い
- オ 会長等選任会議における担当理事の選任（互選）手順の見直し
- カ 市民公開シンポジウムの今後の在り方と研究大会開催（年 2 回）
- キ ホームページにおける研究助成等の情報提供
- ク 入会審査
- ケ 会員管理ソフトの修正
- コ その他

第 23 回担当理事会

開催日 2007 年 11 月 21 日

会 場 メール持ち回り

議事事項

- ア 編集委員会からの提案
- イ 「日本経済学会連合」の評議員 2 名の選出
- ウ 新入会員の承諾

第 24 回担当理事会

開催日 2008 年 3 月 25 日

会 場 ゆうちょ財団 4 階会議室

議事事項

- ア 北海道部会長及び理事の交代
- イ 生活経済学会の総務担当及び財務担当副会長の指名並びに
担当理事の選任規程の改正
- ウ 研究大会の年2回開催
- エ 「日本経済学会連合」の評議員2名の選出
- オ 退会及び会費未納退会者の再加入並びに会員種別変更に関する
規定の整備等
- カ 編集委員会からの提案
- キ 生活経済学会会則の改正
- ク ホームページ委員会からの提案
- コ 会員管理ソフト改造
- サ 2007年度事業報告及び同収支決算見込み
- シ 2008年度事業計画及び同収支予算（案）
- ス 名誉会員推薦
- セ 生活経済学会編集委員会設置規程等の改正
- ソ 各種委員会委員の委嘱
- タ 入会審査等
- チ その他

第2 2007年度決算報告

1 2007年度決算

(2007年4月1日から2008年3月31日まで)

2007年度収支決算書

(2007年4月1日から2008年3月31日まで)

(単位：円)

収入の部			
科目	2007年度決算額 (A)	2007年度予算額 (B)	増減額 (A-B)
《基本財産運用収入》	249,507	80,000	169,507
基本財産利息収入	249,507	80,000	169,507
《会費収入》	8,964,000	9,530,000	▲566,000
個人会員A会費収入	4,418,000	4,632,000	▲214,000
個人会員B会費収入	834,000	1,095,000	▲261,000
個人会員C会費収入	12,000	3,000	9,000
賛助会員会費	3,700,000	3,800,000	▲100,000
《その他収入》	540,429	555,000	▲14,571
懇親会収入	335,000	300,000	35,000
投稿料	85,000	100,000	▲15,000
掲載料	60,000	50,000	10,000
補助金	0	60,000	▲60,000
広告掲載料	40,000	40,000	0
受取利息	20,429	5,000	15,429
雑収入	0	0	0
2007年度収入計	9,753,936	10,165,000	▲411,064
前期繰越	11,350,180	11,350,180	
合計	21,104,116	21,515,180	▲411,064

支出の部			
科目	2007年度決算額 (A)	2007年度予算額 (B)	増減額 (A-B)
《管理費》	4,016,452	5,125,000	▲1,108,548
事務委託費	2,887,128	2,900,000	▲12,872
会議費	50,344	80,000	▲29,656
交通費	862,110	1,000,000	▲137,890
通信費	117,895	250,000	▲132,105
印刷・製本費	0	50,000	▲50,000
諸謝金	0	500,000	▲500,000
租税公課	54,166	65,000	▲10,834
消耗品費	4,249	80,000	▲75,751
雑費	40,560	200,000	▲159,440
《事業費》	4,100,052	5,465,000	▲1,364,948
大会・総会開催費	753,799	900,000	▲146,201
懇親会支出	338,500	390,000	▲51,500
部会開催費	1,229,110	2,025,000	▲795,890
学会誌発行費	1,404,868	1,600,000	▲195,132
学会賞費	21,120	150,000	▲128,880
学会史関係費	99,455	100,000	▲545
ホームページ関係費	253,200	250,000	3,200
雑費	0	50,000	▲50,000
2007年度支出計	8,116,504	10,590,000	▲2,473,496
予備費	---	10,925,180	---
次期繰越	12,987,612	---	---
合計	21,104,116	21,515,180	▲411,064

2 会計監査報告

会計監査報告

2007年度生活経済学会決算について、決算報告書及び関係帳簿により監査した結果、正確かつ適正であったことを認めます。

2008年4月18日(金)

監事 森 映 雄 印
森 映 雄 (印)
監事 南林さえ子 印
南林さえ子 (印)

(第2号議案)

Ⅱ 生活経済学会会則等の改正について

次のとおり、改正・制定案について説明がなされ、承認された。

第1 生活経済学会会則の改正について

日本経済学会連合への加盟、会員の退会、会員種別変更に係る会費の納入等に関する規定を整備するため、所要の改正を行う。

生活経済学会会則（新旧比較表）

条・項	新	旧
第6条 標題	(入会及び退会)	(入会)
第6条 第2項 (追加)	2 会員は、退会届を会長に提出することにより退会することができる。	
第6条 第3項 (追加)	3 会長は、2年以上会費を滞納した者を、担当理事会の議決を得て、退会したものとみなすことができる。	
第7条 第3項	3 <u>会費は年度単位で納入し、既納の会費は返納しない。</u>	3 <u>2年以上会費を滞納したものは、原則として退会したものとみなす。</u>
第8条 第3項	3 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたとき、その職務を代行するとともに、総務担当理事、財務担当理事及び <u>渉外担当理事</u> の執行する会務を総括する。	3 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたとき、その職務を代行するとともに、総務担当理事及び財務担当理事の執行する会務を総括する。
第8条 第5項 第3号	(3) 渉外担当理事は、日本学術会議、日本経済学会連合及び他学会の渉外・折衝を行う。	(3) 渉外担当理事は、日本学術会議及び他学会の渉外・折衝を行う。
附則	1 <u>この改正は、2008年度の総会において承認された日をもって施行する。</u>	

第2 生活経済学会の総務担当及び財務担当副会長の指名並びに担当理事の選任規程の改正について

会長等選任会議における担当理事の選任手順の見直し等所要の改正を行う。

生活経済学会の総務担当及び財務担当副会長の指名並びに担当理事の選任規程 (新旧比較表)

条・項	新	旧
第2条 第1項 (ただし書の追加)	<u>ただし、担当理事を選任できない場合は、選任方法を協議し、後日選任することができる。</u>	
第3条 第1項	総務担当副会長及び財務担当副会長の指名は、選任会議において選任された会長がこれを行うものとする。	総務担当理事及び財務担当理事の指名は、選任会議において選任された会長がこれを行うものとする。
第3条 第2項	<u>2 担当理事は、理事の中から選任し、選任会議において選任された会長がその担当する会務を指名する。</u>	<u>2 担当理事の選任は、担当する会務を含めて理事の中から互選する。</u>
第3条 第3項 (第2項のまた書を第3項へ変更)	<u>3</u> また、担当理事の全員が、総務担当理事、財務担当理事又は渉外担当理事のいずれかを必ず勤めることとし、それらの人数は、それぞれ次のとおりとする。 (1) 総務担当理事 8名程度 (2) 財務担当理事 2名程度 (3) 渉外担当理事 2名程度	また、担当理事の全員が、総務担当理事、財務担当理事又は渉外担当理事のいずれかを必ず勤めることとし、それらの人数は、それぞれ次のとおりとする。 (1) 総務担当理事 8名程度 (2) 財務担当理事 2名程度 (3) 渉外担当理事 2名程度
附則	<u>1 この改正は、2008年度の総会において承認された日をもって施行する。</u>	

第3 生活経済学会編集委員会設置規程等の改正について

各種委員会の委員の選任について、非現行となっているので所要の改正を行う。

生活経済学会理事及び監事の選任規程（新旧比較表）

条・項	新	旧
第6条 第3項	3 選挙管理委員会は、理事2名及び理事以外の会員3名をもって構成し、 <u>その委員は、担当理事会の議決を経て、会長が委嘱する。</u> なお、理事のうち1名は総務担当理事とする。	3 選挙管理委員会は、理事2名及び理事以外の会員3名をもって構成し、 <u>担当理事会がこれを指名する。</u> なお、理事の内1名は総務担当理事とする。
附則	1 <u>この改正は、2008年度の総会において承認された日をもって施行する。</u>	

生活経済学会理事及び監事の選任規程施行細則（新旧比較表）

条・項	新	旧
第1条	選挙管理委員は、理事の任期の終わる6カ月前までに <u>担当理事会の議決を経て、会長が委嘱する。</u>	選挙管理委員は、理事の任期の終わる6カ月前までに <u>担当理事会が</u> 指名する。

生活経済学会編集委員会設置規程（新旧比較表）

条・項	新	旧
第3条 第1項	委員会は、原則として委員6名以上で組織する。	委員会は、原則として委員6人以上で組織する。
第3条 第2項	2 委員のうち1名は、 <u>総務担当理事の中から互選し、担当理事会の議決を経て、会長が委嘱する。</u>	2 委員のうち1人は <u>総務担当理事とするものとし、総務担当理事の中から互選する。</u>
第3条 第3項	3 その他の委員については、 <u>会員のうちから担当理事会の議決を経て、会長が委嘱する。</u>	3 その他の委員については、 <u>会員のうちから理事会の推薦により、会長が委嘱する。</u>
附則	1 <u>この改正は、2008年度の総会において承認された日をもって施行する。</u>	

生活経済学会ホームページ委員会設置規程（新旧比較表）

条・項	新	旧
第3条 第2項	2 委員のうち1名は担当理事とするものとし、 <u>担当理事会の議決を経て、会長が委嘱する。</u>	2 委員のうち1名は担当理事とするものとし、会長が委嘱する。
第3条 第3項	3 その他の委員については、会員のうちから <u>担当理事会の議決を経て、会長が委嘱する。</u>	3 その他の委員については、会員のうちから会長が委嘱する。
附則 1	1 <u>本規程に関する細則は別に定める。</u>	
附則 2 (追加)	(施行期日) 2 この改正は、2008年度の総会において承認された日をもって施行する。	

第4 「生活経済学会ホームページ委員会設置規程」に関する細則の制定について

生活経済学会ホームページの運用及び画面更新を円滑かつ迅速に対応するため、新たに細則を制定する。

「生活経済学会ホームページ委員会設置規程」に関する細則

第1条 この細則は、生活経済学会ホームページ委員会設置規程第2条に基づき、生活経済学会ホームページ（以下「学会ホームページ」という。）の運用及び画面更新について必要な事項を定める。

2 学会ホームページの運用及び画面更新については、この細則に定めるもののほか、生活経済学会ホームページ委員会（以下「委員会」という。）が定めるところによる。

第2条 委員会は「更新作業取扱者」を決定し、生活経済学会長（以下「学会長」という。）名で、更新作業に関する契約を締結する。

第3条 学会ホームページの更新に関する、ページ・項目別の「更新情報提供者」、「更新情報提供の時期」、「更新情報の提供形態」を、別表「生活経済学会ホームページ更新取扱表」に定める。

第4条 「更新情報提供者」は、更新情報を「更新情報の提供形態」により、「更

新情報提供の時期」にできるだけ速やかに、委員会に提出しなければならない。

第5条 委員会は、更新情報を受理したときは、当該更新情報について学会ホームページ掲載の妥当性を確認し、「更新作業取扱者」に対し更新情報のホームページ掲載を指示する。ただし、委員会は「更新情報提供者」に対し、受理した更新情報の修正を求めることができる。

第6条 「更新作業取扱者」は委員会の指示を受け、できるだけ速やかに学会ホームページを更新し、更新後は必ず委員会の確認、了承を得るものとする。

第7条 学会ホームページ更新に関するその他の取扱いについては、委員会が学会長と協議の上決定し、必要に応じて「更新作業取扱者」に指示する。

※ 別表「生活経済学会ホームページ更新取扱表」は省略

(第3号議案)

Ⅲ 2008年度事業計画及び同収支予算案について

次のとおり、2008年度事業計画及び同収支予算案の説明がなされ、承認された。

第1 2008年度事業計画

(2007年4月1日～2008年3月31日)

1 研究大会の開催

2008年度研究大会を次のとおり開催する。

開催日	2008年6月7日(土)～8日(日)
会場	関西学院大学上ヶ原キャンパスG号館
内容	研究報告及び討論
共通論題	「格差社会を考える」

2 部会の開催

- ・ 北海道部会 10月18日(土) 小樽商科大学 札幌サテライト教室
- ・ 東北部会 10月18日(土) 東北学院大学
- ・ 関東部会 9月27日(土) 東洋大学
- ・ 中部部会 10月18日(土) 名古屋学院大学 白鳥キャンパス
- ・ 関西部会 12月予定
- ・ 中・四国部会 11月予定
- ・ 九州部会 11月8日(土)

3 「生活経済学研究」の発行

「生活経済学研究」(第28巻)及び(第29巻)を発刊する。

	発刊予定	内 容	発行部数
第28巻	2008年9月	論文、研究ノート、共通論題等	1,000部
第29巻	2009年3月	論文、研究ノート、共通論題等	1,000部

4 会員名簿の発行

会員名簿を作成し、学会誌に同封して送付する。

第2 2008年度収支予算案

(2008年4月1日から2009年3月31日まで)

2008年度収支予算案

(2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位：円)

収入の部			
科 目	2008年度予算	2007年度予算	2007年度決算
《基本財産等運用収入》	200,000	80,000	249,507
基本財産等利息収入	200,000	80,000	249,507
《会費収入》	8,371,000	9,530,000	8,964,000
個人会員A会費収入	4,480,000	4,632,000	4,418,000
個人会員B会費収入	882,000	1,095,000	834,000
個人会員C会費収入	9,000	3,000	12,000
賛助会員会費	3,000,000	3,800,000	3,700,000
《その他収入》	610,000	555,000	540,429
懇親会収入	335,000	300,000	335,000
投稿料	95,000	100,000	85,000
掲載料	60,000	50,000	60,000
補助金	60,000	60,000	0
広告掲載料	40,000	40,000	40,000
受取利息	20,000	5,000	20,429
雑収入	0	0	0
収入合計	9,181,000	10,165,000	9,753,936
前期繰越	12,987,612	11,350,180	11,350,180
合 計	22,168,612	21,515,180	21,104,116

支出の部			
科 目	2008年度予算	2007年度予算	2007年度決算
《管理費》	5,602,000	5,125,000	4,016,452
事務委託費	2,900,000	2,900,000	2,887,128
会議費	72,000	80,000	50,344
会費合費	35,000		
交通費	900,000	1,000,000	862,110
通信費	250,000	250,000	117,895
印刷製本費	250,000	50,000	0
諸謝金	250,000	500,000	0
租税公課	65,000	65,000	54,166
消耗品費	80,000	80,000	4,249
雑費	800,000	200,000	40,560
《事業費》	5,137,000	5,465,000	4,100,052
大会・総会開催費	810,000	900,000	753,799
懇親会支出	350,000	390,000	338,500
部会開催費	1,812,000	2,025,000	1,229,110
学会誌発行費	1,440,000	1,600,000	1,404,868
学会賞費	135,000	150,000	21,120
学会史関係費	270,000	100,000	99,455
ホームページ関係費	270,000	250,000	253,200
雑費	50,000	50,000	0
支出合計	10,739,000	10,590,000	8,116,504
予備費	11,429,612	10,925,180	—
次期繰越			12,987,612
合 計	22,168,612	21,515,180	21,104,116

* 休止中のシンポジウム等の費用は計上しない

(第4号議案)

IV 理事の交代等について

次のとおり、説明がなされ、承認された。

北海道部会長の交代に伴い、後任理事の選任に係る臨時理事会（メール持ち回り）で、伊藤 一氏（小樽商科大学）が選任され、併せて理事選任後、総務担当理事に選任することが議決された。

生活経済学会第12期役員名簿

(五十音順・敬称略)

役職	氏名	所属	部会	専攻分野
会長	坂口 正之	大阪商業大学	関西	社会保障論
副会長	朝日 譲治	明海大学	関東	公共経済学・理論経済学
副会長	奥野 博幸	愛知大学	中部	金融論
総務担当 理事	伊藤 一	小樽商科大学	北海道	流通システム論
	上村 協子	東京家政学院大学	関東	家庭経済学
	江尻 行男	東北福祉大学	東北	市場論・フィナンシャル論
	川島 美保	首都大学東京	関東	生活経済学
	喜田 栄次郎	岡山商科大学	中・四国	経済政策
	中宮 光隆	熊本県立大学	九州	金融論・経済学史
	村田 治	関西学院大学	関西	理論経済学
	森 徹	名古屋市立大学	中部	財政学
財務担当 理事	一圓 光彌	関西大学	関西	社会保障論
	小宮山 康朗	NHK 国際放送局	関東	生活経済論・福祉・リハビリ経済論
渉外担当 理事	東 珠実	椙山女学園大学	中部	家庭経済学
	天野 晴子	日本女子大学	関東	生活経済学・家政教育史
理 事	浅子 和美	一橋大学	関東	経済学
	岩佐 代市	関西大学	関西	金融論
	上田 良光	東北学院大学	東北	国際金融
	植野 和文	兵庫県立大学	関西	交流社会論
	大城 肇	琉球大学	九州	理論経済学
	大藪 千穂	岐阜大学	中部	生活経済学
	鴨池 治	東北大学	東北	金融論
	小西 康生	神戸山手大学	関西	経済政策
	駒木 泰	札幌大学	北海道	計量経済学・農業経済学
	駒村 康平	慶應義塾大学	関東	労働経済学・家庭経済学
	宍戸 邦彦	松山大学	中・四国	統計学
	下和田 功	帝京大学	関東	保険論
	永田 邦和	鹿児島大学	九州	銀行論
	西脇 廣治	県立広島大学	中・四国	金融論
	御船 美智子	お茶の水女子大学	関東	家庭経済学、消費経済学

	宮村 健一郎	東洋大学	関東	金融論
	村本 孜	成城大学	関東	金融論
	米山 高生	一橋大学	関東	保険論
監 事	南林 さえ子	駿河台大学	関東	経済統計学・経営統計学
	森 映雄	早稲田大学	関東	金融論

(第5号議案)

V 名誉会員の推薦報告について

次のとおり、説明がなされ、承認された。

理事会から、次の2氏が推薦された。

- ・ 根津 永二氏 名古屋市立大学経済学部 名誉教授
- ・ 城戸 喜子氏 前・田園調布学園大学人間福祉学部 教授

(第6号議案)

VI その他

(報告事項)

1 生活経済学会賞等の選考結果

- ① 2007年度生活経済学会賞・推薦図書賞・奨励賞の選考
各賞については、推薦もなく、また、該当者もない。
- ② 生活経済学会特別功労賞
該当者なし
- ③ 2008年度に向けた学会賞推薦の奨励策を検討する。

2 日本経済学会連合への加盟と評議員の指名

2007年10月25日に加盟した。評議員の指名方法等については、渉外担当理事のうち1名を充て、残りの1名は、理事又は理事経験者の中から会長が指名する。

3 各種委員会委員(新任の方、敬称略)

- ① 学会賞選考委員会
村本 孜(成城大学)
- ② 編集委員会
岩崎利彦(皇學館大学)、重川純子(埼玉大学)
- ③ ホームページ委員会
倉田あゆ子(名古屋短期大学)
- ④ 生活経済学会史編纂委員会
松本直樹(追手門学院大学)、植野和文(兵庫県立大学)
- ⑤ 日本経済学連合評議員
朝日讓治(明海大学)、天野 晴子(日本女子大学)
- ⑥ 選挙管理委員会
森 徹(名古屋市立大学)、朝日 讓治(明海大学)、畔上 秀人(関東学園大学)、宮崎 礼二(明海大学)、樋口 清秀(早稲田大学)

4 新入会員・会員種別変更の承認報告

- 第21回から第25回担当理事会において承認された会員

新規・種別変更の別	会員種別	会員数
新規	個人会員A	22
個人会員Bから種別変更	個人会員A	5
新規	個人会員B	22
個人会員Aから種別変更	個人会員B	1
新規	個人会員C	3
個人会員Bから種別変更	個人会員C	2

5 その他

6 次期大会開催校あいさつ

2009年6月

岡山商科大学 喜田 栄次郎氏